

令和5年度

加茂小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 楽しくわかる授業(主体的・対話的で深い学び)を実現する
教師の授業力の向上
- 本が好き、読書が好きな子どもの育成

学力向上検討委員会構成

- | | |
|-----------------|--|
| 学力向上推進員
大西あゆ | 委員
校長 真鍋憲人
教頭 石丸秀樹
教務主任 曾我部さち
研修主任 福田ミカ
特コ 久原有里 |
|-----------------|--|

校長

真鍋 憲人

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

【各校の取組状況の把握について】

学力向上検討委員会での取組状況報告、教員相互や管理職の授業参観、授業研究会での検討、学力学習状況調査・学力調査・アンケートでの定着度把握

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本的な知識・技能は身につけられている。(漢字・計算) ○授業態度が良い。 ●習得した知識・技能を活用できていない。 ●読解力に課題がある。	・複雑な問題や文章を、自分で正しく読み取って解くことができる。	・アンダーラインや囲みを、発達段階に応じて活用し、重要な部分や問題提起の部分と具体例、まとめの部分などを読み分けさせる。 ・隙間読書の推進 ・読解プリントの活用			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○繰り返し学習したことや、やり慣れたことなど、自分に自信のあることは意欲的に表現することができる。 ●自分の考えを文章にすることに難しさがある。	・他者の考えと比べたり、調べたりしながら、自分の思いや考えをまとめることができる。	・自分の考えを書いたり、伝えたりする時間を確保する。 ・場面によってICTを活用した意見交換、意見交流を行う。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習準備を整え、聞くこと・話すことのルールを意識して、学習に取り組もうとしている。 ●自ら進んで考え、新たな課題を見つけ、解決しようとすることに課題がある。	・自ら進んで考え、新たな課題を見つけ、解決しようとする態度を身につける。	・児童が興味や関心を示すような教材を提示した、課題解決型学習を設定する。 ・授業や単元の最後に、児童が自己の学習を振り返ることができるようにする。			

令和5年度 学力向上ロードマップ



